

②⑧ 『88.5° ARC』

(88.5度の弧)

ベルナール・ブネ/作 (フランス)
正面エントランス広場に設置された「宮城県図書館」の館名がかかれた塔です。作品のタイトルにある「88.5度」は作品の円弧の角度を表しています。



②③ 『地形広場ことばのうみ』

原 広司/作(日本)

自然の地形をいかした大きな広場です。映画『図書館戦争 The LAST MISSION』のロケ地として使われ、「カミツレ広場」の名前で親しまれています。

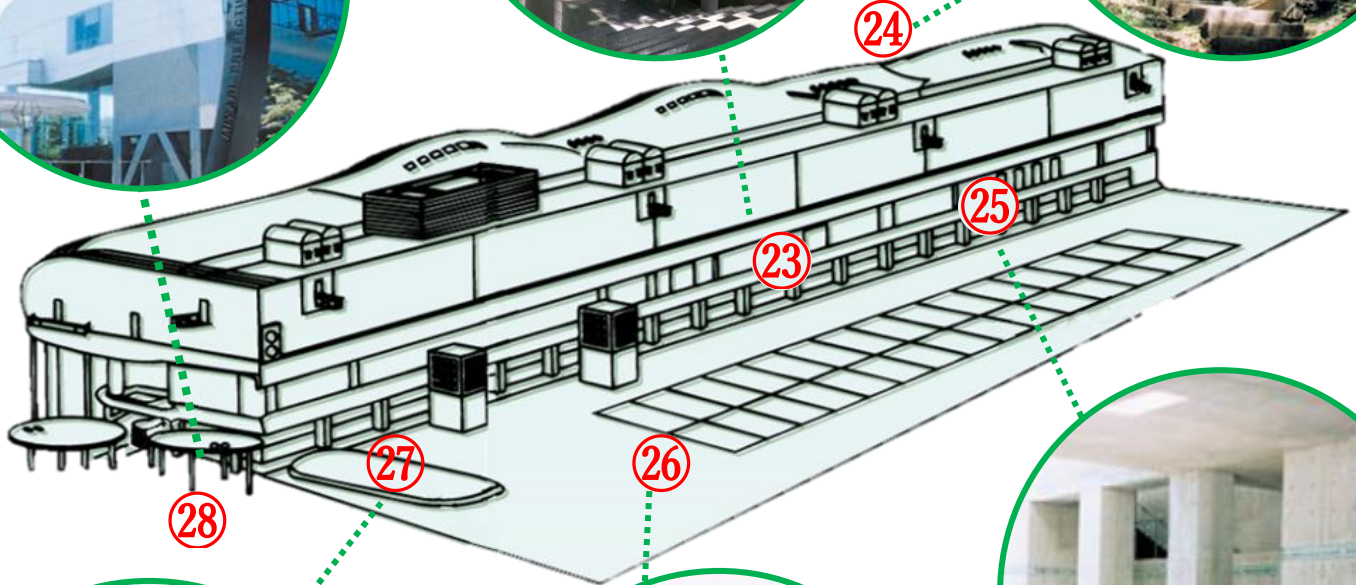
館内には映画の撮影で使われた場所をしようかいた「宮城県図書館ロケ地マップ」が貼られているので、あわせて見てください。



②④ 『書見の道』

川俣 正/作 (日本)

図書館の目の前にある森には木を植えた小道と、ベンチにすわって森をなめられる東屋があります。実は、この森全体が作品になっているんです。北海道生まれである作者の川俣さんが、自然の中にある「公園としての図書館」というイメージをふくらませました。



②⑦ 『Kissing Birds

(キッシング バード)』

メナシェ・カディシュマン/作 (イスラエル)
図書館出入口の北側、道路に面した小さな丘のような場所にある2羽の鳥。素材が鉄であるにもかかわらず、温かみを感じさせる作品です。

②⑥ 『Les percees du jour

(1日の始まり)』

ジャン・フランソワ・ブラン/作 (フランス)

駐車場に立つポール状の照明は、夕方になると青や緑に光ります。この作品は駐車場を庭に見立てており、庭に並んだ明かりをイメージさせます。



②⑤ 『Twice Defined

(二重の定義)』

ジョセフ・コースス/作 (アメリカ)

地形広場の壁に、日本語と英語の言葉が並んでいます。これは、近代日本とアメリカの最初の国語辞典に載っていることばの中から、図書館にあうものをえらび作品にしたアートです。東西の言語が、図書館でつながっている感じがあらわされています。

